

令和5年9月15日

中標津町教育委員会

教育長 山田 康 司 様

中 標 津 町 議 会

議長 後 藤 一 男

学校における熱中症対策に関する緊急要望

先般、伊達市内の小学校において、学校教育活動中に児童が熱中症の疑いで救急搬送され、亡くなるという大変痛ましい事故が発生しました。

本来、子ども達が安心して学ぶことができるはずの学校において、このような事故が発生したことは、極めて遺憾なことで考えます。

当日、伊達市は暑さ指数が高く、環境省のガイドラインによると「運動は原則中止」とされている状況にありながら、体育の授業が行われていたとされております。

本町にあっても、各学校において熱中症対策が適切に行われるよう、町教委から指導を図るべきであります。

また、熱中症対策としては、多くの保護者や地域住民の皆さまから学校へのエアコン設置を求める声があると承知しておりますが、令和4年9月現在の「公立学校施設の空調（冷房）設備設置状況」では、普通教室の設置率が全国で9割を超える一方で、北海道は1割程度にとどまっています。

しかし、道東の内陸に位置する本町においても、学校の下校を早めたり、臨時休校などの対応に追われており、町教委においては、北海道の気象状況が変化していることを踏まえ、これらの声をしっかりと受け止め、子ども達が安全に安心して学ぶことができる教育環境の一層の確保に向けて、早急に取り組まれることを要望します。

以 上